

教科	科目	単位数	学年	担当学科	区分	使用教科書
工業	デザイン実践	2	2	セラミック	必修	デザイン実践 実教出版

### 1. 学習の到達目標

工業の見方、考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、社会や生活における課題をデザインによって解決することに必要な資質・能力を育成することを目指します。

デザインについて社会や生活との関係を理解し、関連する技術を身に付け、デザインにより解決できる課題を発見し、科学的な根拠に基づいて解決する力を養うことを目指します。

デザインによる豊かで快適な生活空間を構築する力の向上を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養うことを目指します。

### 2. 学習の評価

評価の観点	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の規準	デザイン実践に関する基礎的な知識について理解・習得し、取り扱う内容の技法・技術について、実際に活用できる能力を身に付けている。	デザイン実践を学ぶ上で、自ら考え、基礎的な知識と技術を活用して技術者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。	デザイン実践に関する知識と技術について関心を持つとともに、主体的に創造し応用する態度を身に付けている。
評価の方法	授業態度や課題の提出物の状況を総合的に判断して評価します。		

### 3. 教科からのメッセージ

工業のデザインが社会や生活とどのように関わり、様々な課題や問題をデザインの力によってどのように解決しているのか、実践例を踏まえながら学んでいきます。専門的な用語や理論を学び、しっかりと覚えて将来に役立ててください。そして、自身の考え方や身の回りのものづくりにデザインを活かしていけるようになって欲しいと思います。

年間指導計画 科目名 デザイン実践(セラミック科) 2 単位 2 学年

目標	デザイン実践に関する知識と技術を習得させ、実際に創造し応用する能力と態度を育てる。	
月	学習項目	主な学習内容
4	第1章 工業におけるデザイン	第1節 工業とデザイン 第2節 デザインの領域
5	第2章 デザインと創造活動	第1節 造形活動とデザイン 第2節 デザインと創造 第3節 観察と表示 第4節 形態と構成の原理
6		第5節 平面構成 第6節 立体構成
7		第7節 色彩
10	第3章 ビジュアルデザイン	第1章 ビジュアルデザインの概要 第2章 グラフィックデザイン
12	第4章 プロダクトデザイン	第1節 プロダクトデザインの概要 第2節 インダストリアルデザイン
2	第5章 環境デザイン	第1節 環境デザインの概要 第2節 住空間のデザイン